

ピースフェスティバル in せと 2026 第2回戦争を語り継ぐ会

空襲死4876名、命の記録

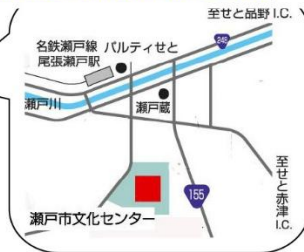
一愛知県徴用関係空襲死亡者名簿より一

報告
瀬戸地下軍需工場跡を保存する会
寺脇正治



映像はすべて米軍戦略爆撃調査団報告より引用

日時 5月23日(土) 13:30~15:30
開場 13:00
会場 瀬戸市文化センター 12会議室
参加費 300円 (大学生以下は無料)



主催

瀬戸地下軍需工場跡を保存する会

問い合わせは



<http://ob.aitai.ne.jp/~tera-m/index.htm>

自宅 0572-23-5899
寺脇 携帯 090-6575-4370
e-mail: tera-m@ob.aitai.ne.jp

P7に関連記事があります



瀬戸地下
軍需工場
跡を保存
する会

会報

NO.191
2026年
5月5日

瀬戸市追分町64-1
瀬戸市職労組 事務所
0561-84-4760
fax 84-4767
郵便振替口座番号
00820-9-105120
連絡先

事務局

寺脇

0572-23-5899

fax 同上

携帯

090-6575-4370

Eメール

tera-m@ob.aitai.ne.jp



ありがとうございます
ございました！
2026年度
会費およびカンパを頂いた方

瀬戸市	金沢 一さん	50000円
	大塚英二さん	30000円
	熊谷達也さん	20000円
一宮市	柴田 隆さん	10000円
2026年5月1日現在	合計	1158名

20年越しの

愛知県戦争遺跡調査報告書

愛知県は2026年3月付で「愛知県戦争遺跡調査報告書」を残念ながら市販はされていませんが「ネットあいち」で発表しました。瀬戸市内の戦争遺跡として2006年度では6か所記載がありました。実在するものとして3か所記載してあります。水野の地下工場跡地は詳細調査の対象として、報告書の中にかかなりのページ数で紹介され

ています（次号で紹介）。

残念ながら20年間で3か所の民間防空壕が消滅したことになります。

他にも愛知航空機菱野工場の事務所であった牧場の門柱など姿を消したり、人が簡単に入出入りできないようになって忘れさられたりする戦跡があります。

平和が危うくなる昨今、戦争の証である戦争遺跡の保護と整備が急がれます。

(寺脇)

愛知県知事のことば

はじめに

愛知県では、1963年に県議会において、「平和県宣言」が決議され、「愛知県は、全世界の人々と手を携えて人類永遠の平和と幸福実現のために努力する平和県である」ことを宣言しました。

また、2025年に、我が国は戦後80年を迎えました。戦争体験者の高齢化により、戦争体験の証言を得ることが難しくなっていることから、戦争の記憶を継承し、戦争の残した教訓や平和の大切さを学ぶためには、戦争遺跡の役割がますます重要となっています。

しかしながら、戦争遺跡についても、開発による撤去や風化による消滅が加速していくことが危惧され、保存に向けた取組が喫緊の課題となっています。

愛知県では、1996年から2004年にかけて、県史編さん事業の一環として、県内の戦争遺跡について調査を行ったところです。

この度、先の調査で県が把握した戦争遺跡と、市町村が独自に把握している戦争遺跡について、現状を確認する現地調査を実施しました。また、主要な遺跡については重点的な詳細調査も行い、県内の戦争遺跡の現状を愛知県戦争遺跡調査報告書として取りまとめました。

本報告書が、県内における戦争遺跡の基礎資料として、適切な保存と継承に向けた取組のための一助となれば幸いです。

最後に、調査の実施及び報告書の作成にあたり、市町村や所有者をはじめ、多くの方々に御協力いただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

2026年3月

愛知県知事

大村秀章

20年間で消滅した戦争遺跡



2006年には、6か所の戦争遺跡を記載していた（愛知県史）



2026年には、民間防空壕3か所が消滅

番号	種別	名称	市町村	所在地	説明	指定登録	本文掲載
101	軍需工場	愛知航空機（株）瀬戸工場	瀬戸市	上本町	コンクリート造坑道口5箇所以上、コンクリート造貯水槽など	—	43～46
102	その他	法雲寺の梵鐘代替品	深川町	深川町	昭和17年（1942）造、陶製、高さ115cm 直径79cm ^{*1}	市指定	20
103	軍需工場	愛知航空機（株）菱野覆土工場	緑町	緑町	半地下式で木組みのアーチ状、建物20万㎡の約半分が終戦時までに完成とされる ^{*2}	—	—
104	その他	東本地町の防空壕	東本地町	東本地町	幅1m高さ1.2m長さ6.7m、ほかにL字形素掘りの横穴があったとされる ^{*2}	—	—
105	その他	新田町の防空壕	新田町	新田町	庭先丘下に幅0.7mの素掘りの横穴が2箇所あったとされる ^{*2}	—	—
106	その他	幡中町の防空壕	幡中町	幡中町	丘下に素掘りの横穴4箇所	—	111
107	その他	掛下町の防空壕	掛下町	掛下町	幅1m高さ1.8m長さ10mの素掘りの横穴があったとされる ^{*2}	—	—

市指定文化財
消滅
消滅

詳細調査を実施した戦争遺跡（20件）

愛知航空機瀬戸疎開工場跡地は愛知県下20件の調査調査の対象となりました。
内容については次号で紹介します。

名称（報告書掲載の表記）	市町村	名称（報告書掲載の表記）	市町村
第三師団司令部	名古屋市中区	小間町の壕	西尾市
高射砲隊・笠寺陣地	名古屋市中区	どうがいり道ヶ木の壕	西尾市
騎兵第三連隊本部	名古屋市中区	横須賀海軍警備隊 大恩寺山 防空砲台及び第一聴測所	豊川市
相生山緑地の爆弾穴	名古屋市中区	歩兵第十八連隊兵舎	豊橋市
引込み線の橋梁	春日井市	豊橋陸軍墓地	豊橋市
陸軍清洲飛行場の作戦室	あま市	向山のトーチカ・境界柱	豊橋市
愛知航空機（株）瀬戸工場	瀬戸市	豊橋陸軍予備士官学校（第十五師団）とその周辺	豊橋市
高射砲隊・名和陣地	東海市	第七十三師団高山戦闘指揮所	豊橋市
河和海軍航空隊基地	美浜町	豊橋海軍航空隊基地の壕	豊橋市
明治海軍航空隊基地	安城市	陸軍第一技術研究所伊良湖試験場	田原市

※詳細調査の対象は、伊藤厚史氏（名古屋見晴台考古資料館学芸員、愛知・名古屋戦争に関する資料館アドバイザー）による監修のもとに選定した。

消滅

「愛知航空機との出会い」②

渡辺哲国

「愛知航空機」との出会いに関して、2005年5月航空ジャーナリスト協会発行の「風天ニュース76号」に掲載された内容を紹介します。
(渡辺)

1995年は敗戦後50年の節目の年であった。半世紀前の出来事は、年代層により、様々な感傷や追憶に繋がる。昭和18年生まれの私には、戦後の進駐軍と食料難(米、小麦粉持参で保育園に通園)くらいの思い出しかない。

1 「ヒコキ」との出会い

小学生の頃、竹箒(ひご)・紙貼り・ゴム動力のライトプレーンに魅せられ、大会で入賞したのがきっかけとなり、模型飛行機狂いは現在も直らず続いている。そのうち模型だけでは物足りなくなり、航空少年団、学連航空部に御世話になり、グライダー、パラセール、自衛隊機、新聞社機など・飛ぶ物にはなんでも乗るようになった。就職先は縁あって、愛知航空機(株)の末商の愛知機械工業(株)に決まったが、愛知航空機に関心は無かった。

2 「アツタ」との出会い

92年夏、オーストラリアのカムデン航空博物館から愛知航空機製「アツタ」航空発動機の写真と調査依頼状が、当時勤務していた愛知機械工業(株)熱田工場に届いた。この調査依頼がきっかけとなり、「アツタ」についての調査を開始したが、社内にも文献にも「アツタ」や「愛知航空機」についての歴史や技術についての記述、資料は余り残されていなかった。社内や社外の人脈を駆使して、「アツタ」の技術的かつ歴史的背景を調査するうちに、いつしか「病膏盲に入る」状態となり、趣味の一つになっていった。

3 不欄な「愛知航空機」

「アツタ」の調査を行ううちに、「愛知航空機」が不欄に思われるようになった。愛知の主要生産機種の水上偵察機と艦上爆撃機は、用兵及び作戦上、被撃墜率が非常に高く、縁の下の方持ち的有在で、脚光を浴びることなく裏方を務めていた、世間では「零戦」、「隼」などの戦闘機ばかりがもてはやされていて面白くない。

こんな思いもあって、「愛知航空機の歴史を世に残す」「現存する愛知機に一目逢う」ことを50代の遊びの一つに加えた。この世界は(ヒコキ気違い)親切な同好の士が多く、多くの出会いと友人を得ることが出来た。種々の活動を通じて、知識や資料の蓄積が出来、「愛知航空機

研究者」を自認するようになったが、おそらく誰もやっていないから、「世界で只一人の」といつても嘘にはならないと思う。

4 「少しは世のため、人のため」

小学生の頃の恩師、高校生で結核療養中に御世話になった恩師から「少しは世のため、人のため」になることをするよう教えを受けた。これは簡単なようで難しかったが、敗戦後50年の節目が思いがけない出会いを運んできた。元愛知航空機動員学徒や元九九艦爆搭乗員との出会いがそれである。

5 元名古屋空・九九艦爆隊

羽田武信氏との出会い

94年春、愛知時計電機(株)総務部からの紹介という前触れで羽田武信氏から電話を頂いた。用件は名古屋航空隊・艦爆隊誌を編纂しているが情報や資料が不足しているので支援助して欲しいとの由。東京在住だが、4月第二日曜日に豊田市の旧伊保が原飛行場跡地で神風特別攻撃隊・草薙隊の慰霊祭があるので、その前夜に会いたいとの事。

終業後に羽田さんと落合い、「サガミ」にて夕食をとりながらお話を伺う。名古屋空は九九艦爆の練習航空隊であったが、戦局悪化に伴い特攻隊に編入され、草薙隊として特攻出撃し、63名が散華した。彼は本土決要員として九州にて待機中に敗戦を迎えたが、特攻隊員は米軍

に金玉を抜かれて処刑されるといふ風評を聞き、北海道に逃げ、炭坑に身を隠していた。戦後50年の節目を迎えるにあたり、関係者が協力して名古屋空・艦爆隊誌を編纂しているが、あちこち頼んでも協力が得られず、なんとか支援を頼みたい。特に九九艦爆と伊保が原飛行場についての情報と資料類が必要である。

と云われても、私は自動車用エンジンと変速機の検査や品質保証には強いが、ヒコキは自称研究者、自信は全く無いが、彼の人柄と誠意にほだされ、出来る限りの支援をすることになった。

「名古屋空艦爆隊誌」は95年に無事刊行。羽田さんはその後思う処あって、「草薙隊実記」を自費出版された。

6 元愛航動員学徒 早稲田大学航空機科

小柳道男氏との出会い

94年秋、総務部より電話があり、動員学徒の方が熱田工場見学を希望しているので宜しく頼むとの由。当日、熱田工場にお連れしお話を伺う。

彼は昭和20年の1月から3月まで動員学徒として熱田発動機製作所に於いて、艦爆・彗星用のアツタ発動機の生産に従事した早稲田大学航空機科学生の一入であった。愛知訪問の目的は旧航空機科で刊行を予定している「早大航空機科の記録」のための資料や情報の収集、

特に「アツタ」と「彗星」について支援を頼みたいとのことであった。幸いにも、前述の如く「アツタ」についてはかなりの資料を入手したので全面的な協力を行うことが出来た。後日再開し、いろいろお話を伺ったなかで面白いエピソードがある。彼等の仲間の一人はかなりの蒐集マニアで、名古屋港の四号地にある発動機試験場を見学の折、ハインケルエンジン型の胴体を見つけ、銘板を外して持ち帰り、今も後生大事にしていると帆う。(Typ419KW, Nr. 2406)

7 元愛航動員学徒 大阪外事専門学校

下坂安房氏との出会い

95年春、ロータリークラブの下坂安房氏から電話を頂いた。彼は戦時中、動員学徒として永徳工場に勤務し、陸上爆撃機・彗星43型の生産に従事していた。戦後50年の節目を迎え、思い出の地・名古屋にて6月にクラス会を行うので、永徳工場見学をお願いしたいとの由。その日は日曜日のため、ミニバンを手配し、名古屋駅近くのホテルにて6人をピックアップし、庄内川の堤防道路を南下、途中、彼等の住んだ惟信寮跡や永徳工場周辺も含め思い出の場所を案内し、愛航に関するプレゼンテーションを実施した。打解けた雰囲気の中で、彼等の若い青春の記録を残してはと提案すると、彼等も丁

度検討中とのことであり、早速、写真や資料の提供依頼を受けるに至った。彼等は英語科出身で英語堪能と聞き、米国防略爆撃調査団の愛知航空機調査報告書の翻訳を依頼し快諾を得た。尚・その後・手記刊行の連帯の輪が広がり、愛知県立第一高女高等科・大阪外事専門学校・金城女専附属高女・島根青年師範女子部・神宮皇學館大及び予科・東京女子高等師範・鳥取師範女子部の7校が参加することになった。

愛知航空「動員学徒の手記95年12月刊行

「愛知航空」動員学徒の手記編集委員会
96年春、刊行記念パー・ティーが大坂難波の法善寺横丁、織田作之助の夫婦善哉にも登場する「正弁丹吾亭」にて開催された。小生も招待され、お茶の水、鳥取の元才媛の美から多くのお酌を頂いた。



金城女専附属高女勤労報国隊

愛知航空機 動員学徒の手記①

前頁にある渡辺哲国さんも関わられた「愛知航空機 動員学徒の手記」を連載させていただきます。
(事務局)

思い出すままに

安達輝子
(東京女高師体育科)

昭和二十年二月某日、身の回りの必要なものをまとめ、リヤカーで大塚駅まで自分達で運んでチツキを送り出した。名古屋動員の用意である。粉雪のちらつく日だった。

庄内川河口に近い愛知航空宝神寮に着くと早速国防色の上着とズボン、戦闘帽にゲートルそして編み上げ靴が支給された。男のような出で立ちで女高師生は三つの小隊を組み、歌に歩調を合わせながら庄内川の土手を工場まで通う毎日が始まった。

私は下級生のKさんと二人で医務部の庶務係に配属されたが、飛行機に直接関係した部署ではないし、椅子と机は与えられたものの、これという事務が待っていたわけでもなく物足りなく思った。しかし、名古屋に空襲のあった翌日は仕事があった。それは半焼、全焼、重傷、

軽傷など、職員の被災状況を記載するという喜ばない仕事だった。度重なる空襲の被害に、誰もが驚いてはおられなくなっていた。被災者はとうとう順番がまわって来たのだと諦める他はなく、まわりもそう慰めていた。何とも残酷な話である。

その頃、あちこちの現場でも既に器材が不足し仕事がないと言うことだった。ある日、動員学徒全員が工場の広場に集められ、蹶起大会が開かれることになった。各学校一名ずつ出て、決意をのべ士気を高揚させるといふもので、私はその役を言い付けられてしまった。苦手だが最上級生である、仕方がない。高く組まれた壇ののぼり

「……本土決戦の覚悟を……一機でも多く戦地に……」声を張り上げ、ようやく終わると、戦闘帽の鏢(つば)に右手の指先をぴつと当てて、軍人のように挙手の礼をした。しかし、実態の伴わない現実には空しい思いだったことが忘れられない。この日は軍部による動員学徒の状況視察があるので、このような形がとられたと囁かれていた。

空襲で、一番敵を憎く感じたのは、敵機が手に取る様な低さで飛んで行くのを見た時だった。あの夜は市内の爆撃を終えたB29が、高射砲の反撃を避けるため、低空で来て庄内川河口から帰って行く。そのため、私達の上をかすめるように低く飛ぶのである。

しかも、防空壕からそっと覗いてみると、油脂焼夷弾がそこそこに落ちていて土手の草が

ちよろちよろ燃え出し、油の匂いがするその明かりで翼の星のマークが大きく見え、操縦士まで目に入って来る。そんな近さを敵機が悠々と一機ずつ来ては飛び去って行く。

私は悔し涙がこみあげ、思わず防空壕から飛び出し、夢中で、防空頭巾で少しでも火を叩き消した。焼夷弾の余ったものを、その辺りに落として行ったのである。それは今も目に浮かぶ屈辱的な光景である。

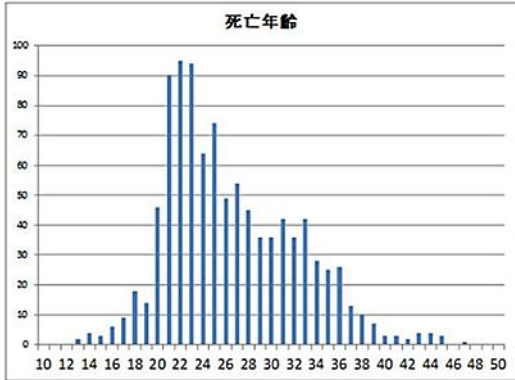
真夏が来ても、私達のゲートル姿は変わらなかった。袖を折りまげて暑さを凌いだ。猛暑ではなかったことがせめてもの救いだった。

八月十一日、瀬戸工場へ疎開し宝泉寺の本堂に移った。今度こそやり甲斐のある職場を期待していたが、まだ配置も決まらないまま十五日になり、全く思いもよらない「終戦の詔勅」が下ったのである。

動員に明け暮れ、四年生の大切な教生という課程もなかった私達に、繰り上げ卒業の九月が迫っていた。しかし、日本がこの先どうなるか誰にも全く予測は出来なかった。十八日、一旦帰省して指示を待つことになった。

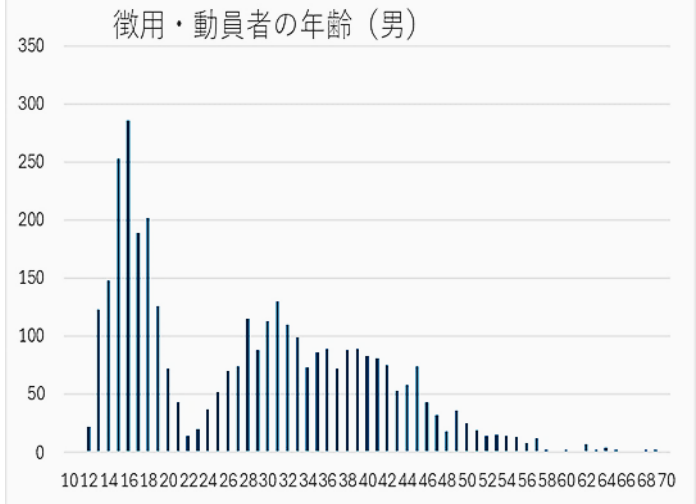
約一カ月後、卒業式の通知を得て上京した。まず寄宿舎の焼跡に行き、私の「竹の一室」と思われる辺りに立ってみた。想像通り留守中置いてあったもののすべてが灰燼に帰していた。見つめているうちにコーヒー茶碗の欠けらが落ちてくるのに気付いた。思わず拾い上げると、気に入りだった柄がはつきり見られ、まぎれもなく私のものだった。 つづく

愛知県徴用関係空襲死亡者名簿より読み解く 空襲死4876名、命の記録



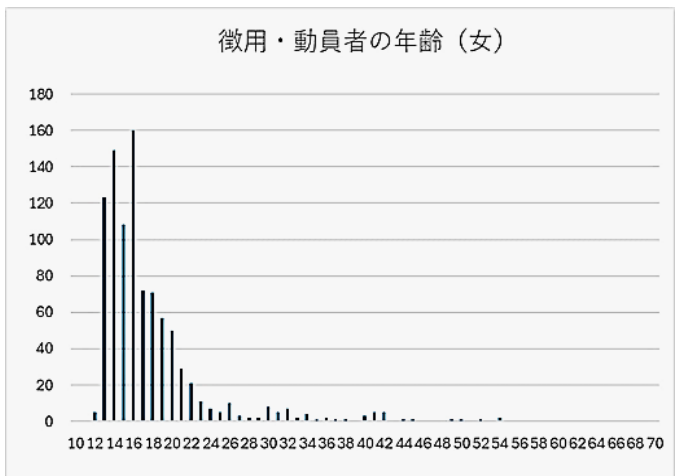
瀬戸市戦没者年齢分布

者の年齢分布
空襲死した男子被徴用・動員

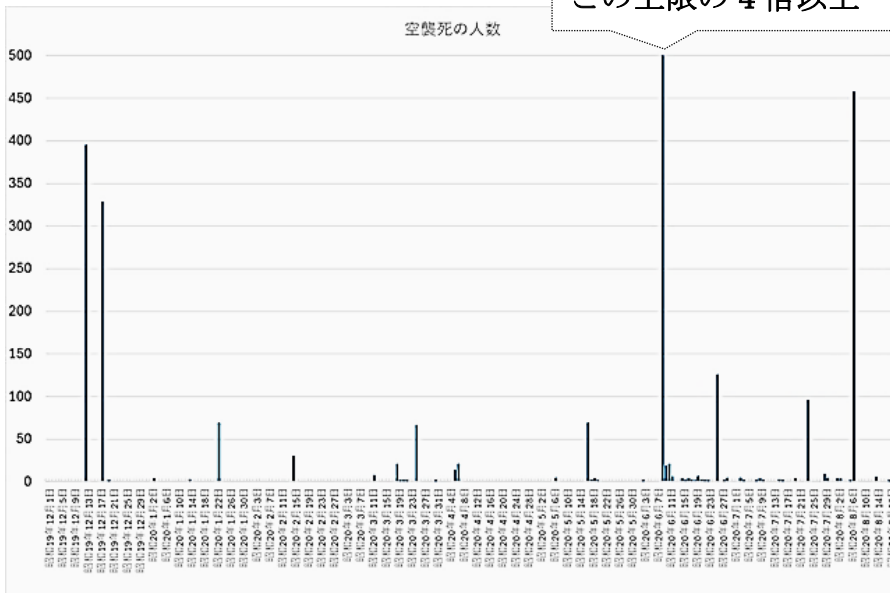


愛知県旧国家総動員関係死亡者名簿（被徴用者等）のデータをエクセルに入力して、分析を試みています。右の二つのグラフは、空襲死亡者のうち男子を下は女子のものです。また上のグラフは、瀬戸市内の戦没者の年齢グラフです。戦没者のピークが22歳前後なのに男子の被徴用者では最低になっていて、当時の若者は「根こそぎ」犠牲になっていることを表しています。（寺脇）

者の年齢分布
空襲死した女子被徴用・動員



この上限の4倍以上



左のグラフは空襲死者の数を時間軸で表したものです。最初の2本は、1944年12月13日と12月18日で三菱重工発動機工場（大幸）と航空機工場（大江）を狙った空襲で、6月9日は愛知時計愛知航空機を狙った空襲です。2000名以上の犠牲者がいますが、グラフの上限を超えています。8月7日は豊川工場を狙った空襲ですが、名簿に載っている犠牲者は一部分（愛知県？学徒？）しかありませんでした。

聖霊高校生 原水禁 参加報告③

25年原水禁世界大会に出席した5名の高校生の報告を掲載します。

Mと言います。よろしくお願ひします。広島に行きまして、原水爆禁止世界大会に参加しました。そこで日本各地世界各国からの核兵器禁止に向けた活動の内容を聞いてきました。私としては核兵器をできればなくしたいと確かに思います。

ただ広島に原子爆弾が落とされたのが80年前で、15歳の私にとって現実味がないというのが正直なところ。資料館とか本とか見て確かにこんなことがあつて、今でも苦しんでいる人がいるんだという事は分かりました。ただ活動をしている人にとっては原子爆弾が落とされるということは自分自身の人生に直結するような、かなり大きな出来事。だから、自身自身が被害を分かっているからこそ周りの人に同じ被害を会わせたくないという気持ちはわかります。

ただ私たちみたいな若者からすると学ぶ機会がない限り、ぜんぜん知らない世界なんですね。私みたいな若者と活動してきた人たちとの認識の齟齬があるのかなというのが感想です。

核兵器の被害は、今ではネットでも先生でもいくらでも手段はあります。学生なので行動範囲は狭められるんですが、「まずは知る」そして周りの人に一人でも多く伝えていく。それだけでも、私は大切なことだと思ひます。大会に参加せずとも、まずは知って、より理解を広める。そしてその知識を多くの人に共有することが大切だと思ひます。

以上です。ご清聴、ありがとうございます。

これからのイベント

これから夏にかけて、いろいろなイベントがありますので、ご紹介します。

ピースフェスティバル in せと 2026

- ・「戦争を語り継ぐ会」はP16に
- ・ピースステージ 「銀河鉄道の夜」 7月18日(土) 18:30、19日(日) 10:30、14:30 大人2500円 高校生以下1500円 瀬戸蔵つばきホール
- ・「平和を願いみんなでつくる美術展」 7月18日(土)・19日(日) 瀬戸市文化センター文化交流館ギャラリー
- ・「高校生が描いた被爆者の絵」 7月29日(水)～8月7日(金)
- ・「原爆と人間」 8月18日(火)～8月27日(木) パルティせと3階壁面

あいち平和のための戦争展 2026

8月13日(木)～16日(日) 10:00～17:00

市民ギャラリー矢田

瀬戸地下軍需工場跡を保存する第35回総会

8月1日(土) 13:30 ～ 文化センター12会議室

報告

熱田を中心にした名古屋戦跡めぐり

3月29日(日)、二〇二五年度の最終日曜日、桜が満開を迎える中、今年の戦跡見学会は、二十四名の参加者で名古屋・熱田を中心にした見学会を行いました。参加者二十四名中初めて参加される方が九名と三分の一以上を占めるとともに、学生さんも二名参加され、お天気も上々で大変気持ちの良い一日を過ごすことができました。

今回の見学会のメインは、昨年「熱田の平和地蔵尊」を撤去から守られた「熱田空襲遺跡を守る有志の会」の林信敏さんに愛知時計電機附近の戦跡を案内していただくとともに、「平和地蔵尊」を守られた経緯を伺うことでした。熱田で生まれ育った林さんの二度と戦争を起さずにはならないという熱い思いを感じる事ができました。また熱田法持寺では有志の会の方々によってお弁当をお世話していただき、桜の花の元、おいしく頂くことができました。感謝感激でした。ありがとうございました。

また、もう一つの目的に、名古屋・春日井にあった兵器工場(陸軍造兵廠)と愛知時計・愛知航空機という軍需工場跡を見学することで戦争の加害の歴史を感じることでした。

感想も交えて今回の見学の内容を掲載させていただきます。(事務局 寺脇)

見学地

- ①陸軍名古屋造兵廠千種製造所跡
- ②陸軍名古屋造兵廠熱田製造所跡
- ③熱田法持寺
- ④愛知時計電機附近探索
(被爆岸壁、平和地蔵等)
- ⑥熱田高校 千年八幡神社
- ⑦愛知航空機スリップ跡
- ⑧鳥居松工廠跡
- ⑨鷹来工廠跡 西山分廠



11 愛知総合市 2024年(令和6年)12月26日(木曜日)

熱田空襲慰霊の地蔵 保存へ

住民の声受け 来月から安全対策工事

太平洋戦争末期、2千人超が亡くなった「熱田空襲」の犠牲者を慰霊するため、愛知時計電機(名古屋熱田区)敷地内に建てられ、安全のため撤去が検討されていた地蔵が安全対策を施した上で保存されることに決まった。

同社などによると、犠牲者を追悼する地蔵は2体あり、うち歩道沿いの1体は地震などで倒壊し、そばを通る歩行者に危険が生じる恐れがあった。地元住民から保存を求める声があり、同社と地蔵を供養してきた法然寺(同市中川区)が方針を再検討していた。安全対策工事は来年1月中旬〜2月初旬を予定。地蔵の高さを80センチほど低くし、歩道からさらに離れた場所に移設。地蔵が倒れても、歩行者にけがをさせないようにする。同社などに撤去中止を求めていた地元住民らでつくる「熱田空襲遺跡を守る有志の会」の林信敏代表(77)は「残してほしい気持ちに添えていただけた。お地蔵さんも喜んでい」と話した。

(角野峻也)



一転保存されることが決まった熱田空襲の犠牲者を慰霊する地蔵＝名古屋熱田区で

「平和地蔵」と林さん(マイクをもっている方)(上図) 保存に向けての記事(左)



① 名古屋陸軍造兵廠千種製造所・名古屋陸軍兵器補給廠

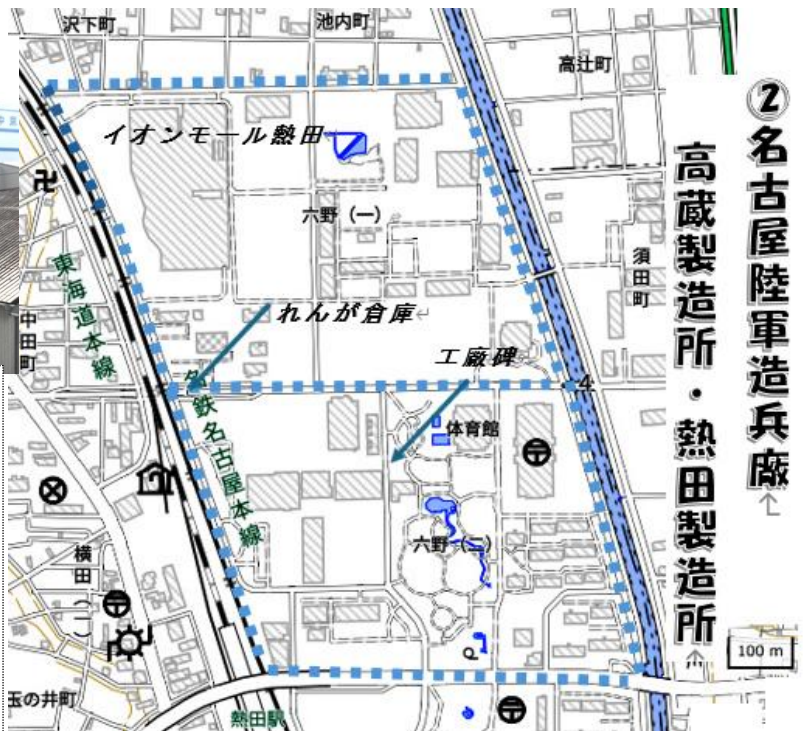
名電高校の北にある「名古屋陸軍兵器補給廠」の壁はこの千種製造所の壁とほぼ同じ形状をしています



中央線から千種製造所に向かう引き込み線の形状を残した街並みです。地図上でも北東方向に千種製造所方面に延びる道路が描かれています。



名古屋で最初に作られた陸軍造兵廠熱田製造所のレンガ建物です。ここでは、大正年間には飛行機の本体が作られ、千種製造所では発動機（エンジン）が作られました。昭和14年には航空機部門は東京の立川に移し、ここでは主に銃や機関銃を製造し、高蔵製造所では弾丸が作られました。



② 名古屋陸軍造兵廠高蔵製造所・熱田製造所



愛知時計電機本社の東にある堀川沿いにある被爆堤防 悲惨だった熱田空襲の爆撃痕が残っている。

愛知時計本社正門入り口にある「殉国地蔵」熱田空襲で亡くなった従業員を国に殉じた者として慰霊している。



鷹来工場と西山分廠をつなぐ引き込み線の鉄橋跡。鷹来工場は名古屋の高蔵製造所の分廠として昭和16年に発足。



鳥居松工場慰霊碑
名古屋造兵廠千種製造所の分廠として新しく昭和14年に鳥居松工場が作られました。慰霊碑には、工場のマークがあります。



愛知航空機永徳工場跡にあるスリッパ跡（上、左上）
永徳工場で生産された水上機（フロートのある飛行機）を庄内川に移動するためのスロープ。
左はボートを接岸させる突堤。



参加者のみなさんご苦勞様でした！
マイクロバスを運転していただいた熊谷さん・野田さん ありがとうございます！

紙芝居 子どもどころ戦争があった①



子どもどころ 戦争があった

この紙芝居は、戦争と
その後の困難な時代を乗
り越え、教員として歩みは
じめた私の青年期までの
物語です。

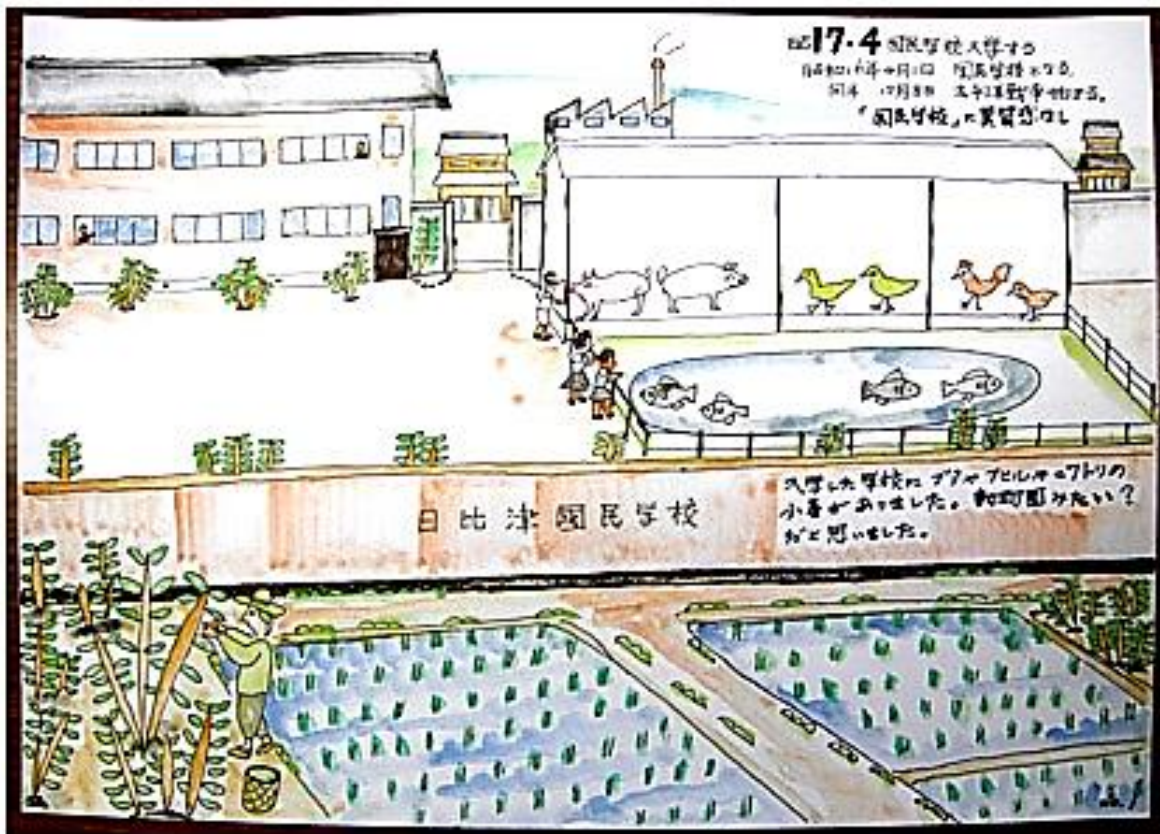
- ・ 紙芝居の作者
- ・ 水野 美智雄 さん

瀬戸こどもと教育九条の会代表の水野
美智雄さんはご自身が子供の頃に体験
されたことを紙芝居にされています。
連載で紹介します。 (寺脇)

水野美智雄さん

・一九三五年十月生まれ。

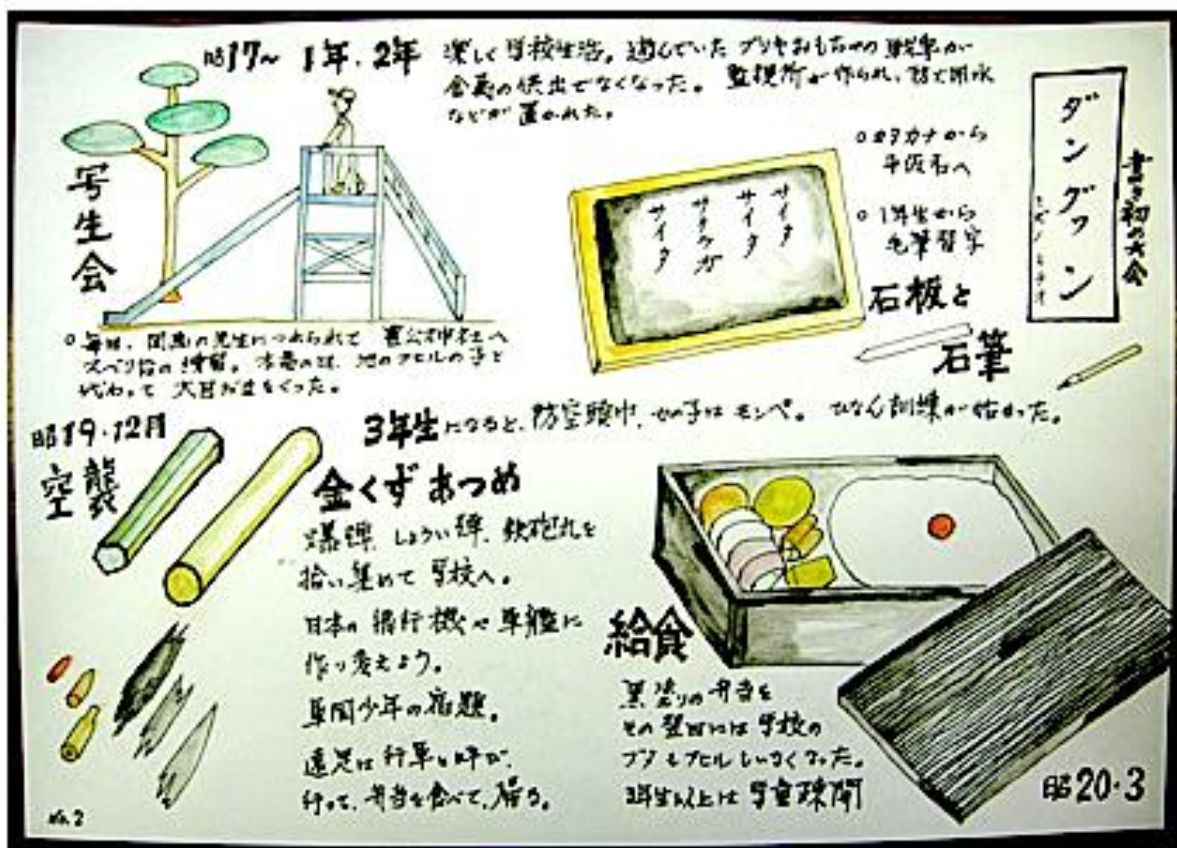
- ①瀬戸市内の小中校長歴任
- ②退職後、「憲法九条をまもる瀬戸の
会代表世話人」・「瀬戸こどもと教育
九条の会代表」として活動



日比津は名古屋市中村区

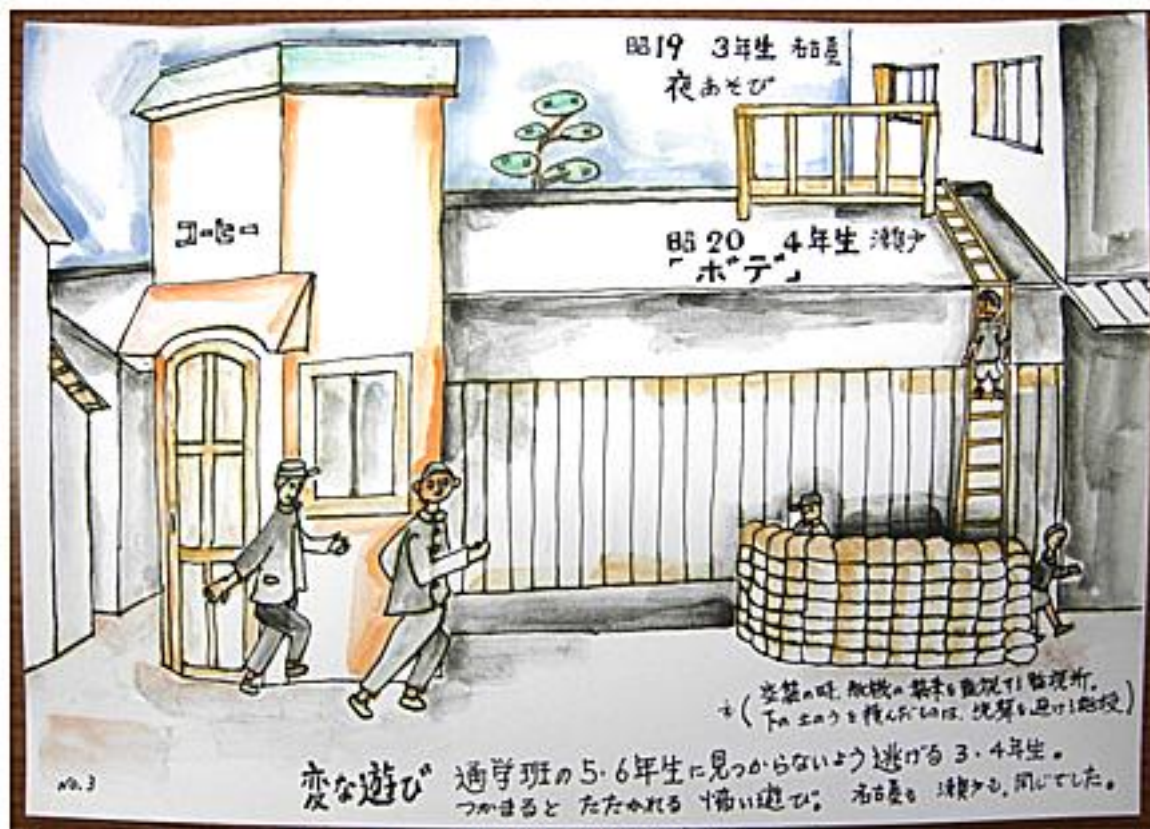
昭和17年4月 国民学校に入学

昭和16年太平洋戦争始まる



国民学校1・2年生

生活も勉強も戦争一色に...



昭和19年 3年生 夜遊び

5・6年生に見つからないように

写真で観る晴嵐 28号機修復の全貌

第24話

愛知航空機研究家・渡辺哲国

「偵察席」

偵察員の主な業務は、

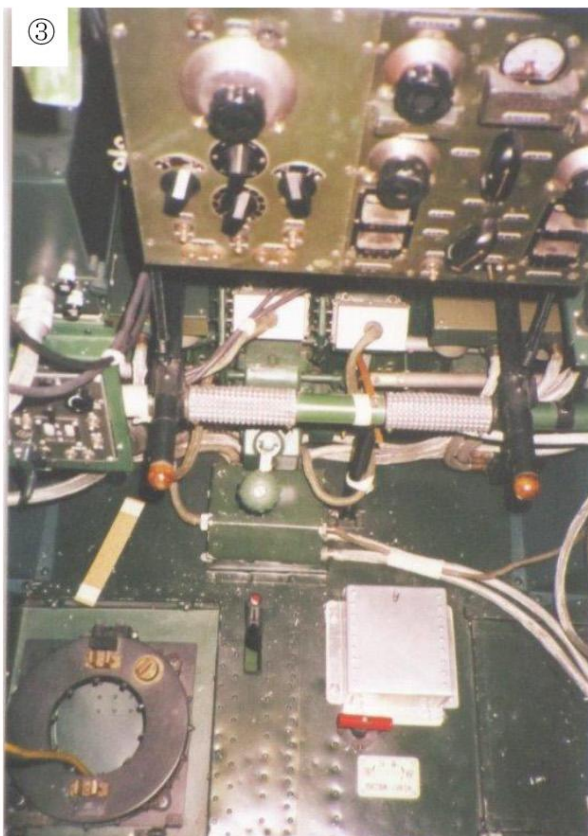
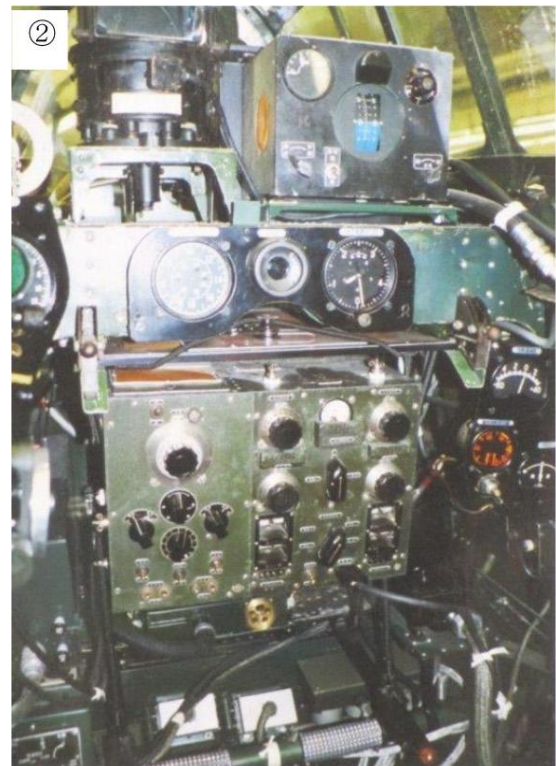
- ・航法、通信、偵察、写真、
- ・見張り、射撃
- ・急降下時の高度読み上げ
- ・水平爆撃時の照準 等多岐にわたる。

* 偵察員の座席は普段は前向きであるが、旋回機銃操作時は 180 度回転させ後向きにする。

次号へつづく

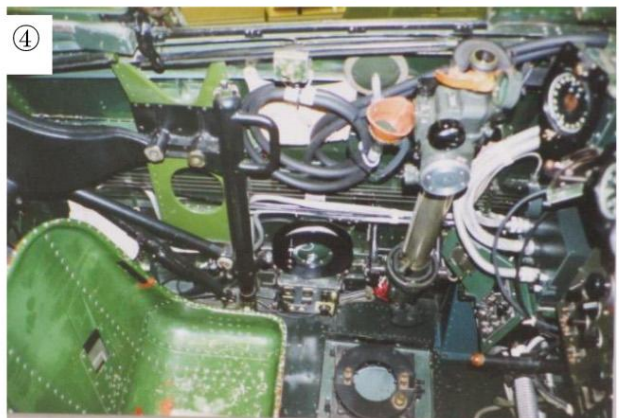
①②③ 偵察席前部の計器配置

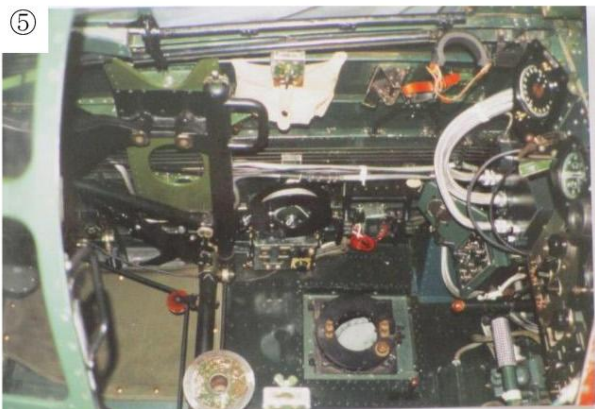
- 上段左より、1) 航空羅針儀一型 2) 1 式空三号無線帰投方位測定機枠型空中線 (ループアンテナ) 3) 三式射爆管制器
- 2 段目、4) 遠隔羅針儀 (枠外、次の写真参照) 5) 速度計三型改二 6) 秒時計 (欠品) 7) 精密高度計二型
- 中央、8) 九六式空二号無線電信機
- 右下、9) 大気温度計 10) 酸素調節器二型



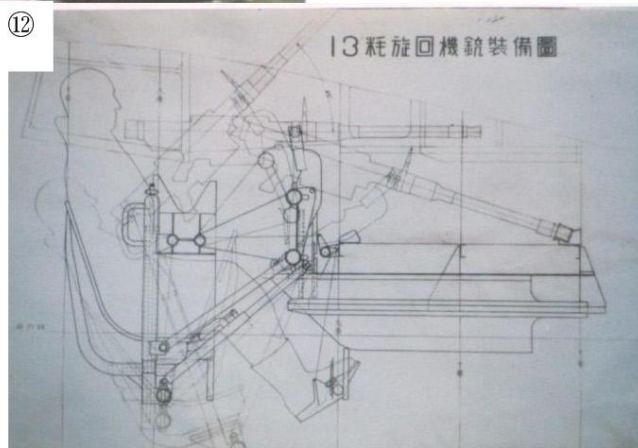
④⑤⑥ 偵察席左舷

筒状の計器は九七式一号偏流測定機一型、他の日本機のを参考に複製された。その下の伝声管 (送話器) も複製品。偵察席には航法用図板一型や偵察用具袋も搭載されている





⑦偵察席右舷



⑧⑨⑩⑪⑫ 偵察席後部

- ・ 二式 13MM 旋回機銃が回転式の風防後端部と一体の銃架に組込まれ格納されている。その下茶色の梱包は救命筏二型。
- ・ 回転風防を180度回転させると、機銃が上部に出る。
- ・ 銃身前端を固定具から外し、足元のペダルを踏み込み、最適な射撃位置（3段階）に設定する。
- ・ 13 耗 旋 回 機 銃 装 備 図

インフォメーション

愛知県内の空襲・戦争の跡③

愛知・名古屋戦争に関する資料館



愛知航空機・瀬戸地下工場跡

住所:愛知県瀬戸市上本町1

名古屋空襲に激化に伴い、名古屋市内にあった軍需工場は市外や県外に工場疎開を実施しましたが、瀬戸市には愛知航空機の工場が疎開しました。疎開先の工場では主翼部品などの製造を引き続き行い、この工場でも動員された学徒が多く勤務しており、中には朝鮮人労働者もいたと言われています。

戦後は工場が撤退したこともあり、放置されていましたが、近年になって再度調査が行われて、その記憶が掘り起こされています。しかし、陥没溝が増えていることや入り口が土砂で埋まっていることなどもあり、その実態をつかむのが難しくなっています。

アクセス:愛知環状鉄道「瀬戸市駅」より北へ徒歩約20分
(基本的に見学は不可、見学の際は関係団体に要連絡)

名古屋市大津橋にある「愛知・名古屋戦争に関する資料館」に地下工場のパネルが展示されました。



〒460-0002 名古屋市中区丸の内
三丁目4番13号 愛知県庁大津橋分室
1階
地下鉄名城線「名古屋城」4番出口
から南へ徒歩約5分
地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」
1番出口から北へ徒歩約8分

戦争を語り継ぐ会

昨年までピースフェスティバル in せと「戦争体験を語り継ぐ会」は体験者が稀有になってしまい、新たに「戦争を語り継ぐ会」として再出発します。今を戦前にしないためにも過去の過ちをしっかりとらえることが大切だと思います。一人一人が当事者として参加されることを願っています。

- 5月23日 空襲死の記録
 - 6月27日 花岡事件
 - 7月18日 治安維持法と岩田義道
 - 8月22日 満州で徴兵フィリピンで死んだ父
- いずれも 13:30分~文化センターで

編集後記



愛知県戦争遺跡調査報告書が3月に発行(ネット上で)されたということ先日行われた「愛知平和のための戦争展実行委員会」で初めて知りました。私は岐阜県に住んでいるので、愛知県の情報を知る機会が少ないのですが、新聞ネタにもならなかったのでしょうか? 「開発による撤去や風化による消滅が加速していくことが危惧され、保存に向けた取組が喫緊の課題となっています。」という大村知事の言葉を瀬戸市の方々はどう受け止められるのでしょうか? 2026年5月3日(T)